

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~6日	1月 ~13日	1月 ~20日	1月 ~27日	2月 ~3日	2月 ~10日	2月 ~17日	2月 ~24日	3月 ~3日	3月 ~10日	3月 ~17日	3月 ~24日	3月 ~31日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	5	18	21	12	12	12	15	7	22	17	14	0 (23)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	11	30	27	17	23	24	20	14	14	10	14	16	22
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	0	3	2	0	0	0	2	1	0	4	4	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	2	4	3	1	3	3	0	3	3	3	4	0	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	3	7	6	6	4	5	2	5	6	1	4	4	7
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (1)	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	5	9	7	2	4	8	6	5	0	3	3	3	2

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* 先週の、その他の1件増は、アエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成31年第13週(3月25日~3月31日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8			1		5	2	
三類	0	発生なし	0							
四類	2	E型肝炎	1					1		
		レジオネラ症	1					1		
五類全数	16	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1					
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2	1						1
		梅毒	2					2		
		百日咳	4			1		2		1
風しん	6		3			3				

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第13週 3/25～3/31)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 風しん

3件の報告があり、今年の累計は10件となりました。

風しんウイルスに感染すると、約2～3週間の潜伏期間の後、発熱、発しん、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。また、妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんが先天性風しん候群(難聴、白内障、心疾患等)を発症する可能性があるため、特に注意が必要です。

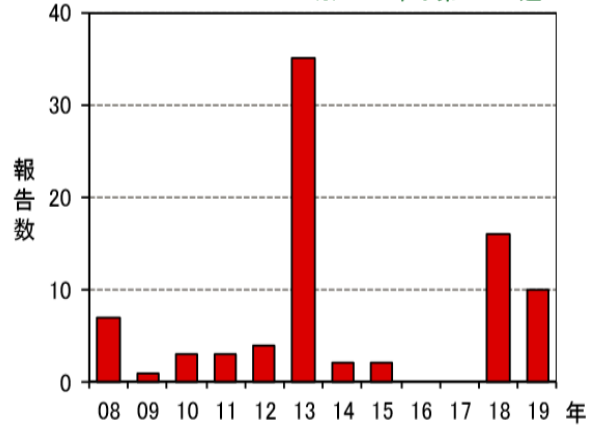
2. 梅毒

2件の報告があり、今年の累計は19件となりました。

梅毒は、早期発見・早期治療が大切です。

風しんの年間報告数の推移

※2019年は第1～13週



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
														急増	急減	
小児科	インフルエンザ	59	1.64	4.76	◇	小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.72	◇	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減	
	咽頭結膜熱	2	0.09	0.29	◇	眼科	RSウイルス感染症	14	0.61	0.19	◇	急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	2.57	2.18	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	◇	横ばい	横ばい	ほとんど増減なし		
	感染性胃腸炎	117	5.09	8.16	◇	眼科	流行性角結膜炎	8	1.00	0.43	◇	急増	急減			
	水痘	13	0.57	0.38	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	◇	急増	急減			
	手足口病	4	0.17	0.22	◇	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	◇	急増	急減			
	伝染性紅斑	6	0.26	0.16	◇	基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	◇	急増	急減			
	突発性発しん	10	0.43	0.29	◇	基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◇	急増	急減			
	ヘルパンギーナ	-	-	0.06	◇	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	0.57	1.31	◇	急増	急減			

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	46	男性(70歳代)・2人、女性(70歳代)・2人、男性(80歳代)・1人
4	E型肝炎	1	1	男性(70歳代)
4	レジオネラ症	1	5	男性(70歳代)
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	女性(40歳代)
5	梅毒	2	19	女性(20歳代)、女性(40歳代)
5	百日咳	2	15	女性(20歳代)、男性(30歳代)
5	風しん	3	10	男性(40歳代)・2人、男性(50歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 気管支炎 嘔吐下痢 腹痛	5	男	2019/02/15	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(37.8) 咽頭炎 頭痛 関節痛	46	男	2019/02/19	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.7)	8	女	2019/02/19	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.1) 鼻炎	9	男	2019/02/20	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 紅斑 咽頭炎	2	男	2019/02/21	咽頭拭い液	ヒトコロナウイルスNL63

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載